

第 8 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 22 年 7 月 30 日（金） 本社会議室	
委員	田中俊充（弁護士） 矢橋農吾（大学名誉教授） 西谷隆亘（大学名誉教授） 高橋 明（水資源機構監事）	
審議対象	1 .平成 22 年度第 1 四半期における 1 者応札・1 者応募に関する点検について 2 .平成 22 年度第 1 四半期における随意契約に関する点検について	
1 .平成 22 年度第 1 四半期における 1 者応札・1 者応募に関する点検についての審議	委員	機構事務局
	・「エレベーター設備工事」について、資料中『1 者応札対策を採っても 1 者応札となった原因は何か』の欄中、不参加者の意見の中で、『完成後の保守についての懸念』とあるが、これはどういうことか。	・一般にエレベーター会社が自ら言っている 1 時間ぐらいで緊急時に駆けつけるといって、現場がその営業拠点から遠いという面での保守管理に懸念があるというものでした。
	・「大山ダム地質資料修正・評価業務」について、地質調査において今までとったサンプルを自分がやっていたら次も楽だが、別の人が入ってくるとすごく大変になるという中身のものではないのか。	・もともとやってきた者と新たに入るのでは、全然手間が違うのはどうしても避けられません。もちろん勉強すれば絶対できないことはありませんが、かなり不利な条件で最初から競争しなければいけないというのは間違いないと思います。
	・この業務は、指名競争として、ほかの業者も参加するか、しないかといった形のほうがよかったのではないのか。	・他社が入ってくるには困難性が高く、価格面でも相当頑張らないと取れないという話にはなるかと思います。しかしながら、随契から指名競争に、さらには一般競争に移ってきた流れの中で、最後の最後にどうしてもここでしかというものであっても、わずかでも競争の余地があれば一般競争を継続するしかないと考えています。
	・「自動車燃料等購入及び洗車に係る単価契約」に、業務量や単価契約に魅力がないとあるが、魅力がないというのは利ざやが少ないということか	・ガソリンの量にもよりますが、ガソリンの価格の変動が激しいところを単価契約としますと、なかなか業者さんは寄ってきてくれない現状にあります。

第 8 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

<p>・単価を市場連動性にするとか、契約方式を変えることはできないのか。</p>	<p>・現在は石油情報センターという法人がありまして、そこが速報値をインターネットで公開していますので、それを見れば月 1 回の単価変更はできると思いますが、毎週あるいは日々単価変更するというのでは、事務手数等の観点から単価契約の意味がなくなってしまいます。</p>
<p>・エレベーターの緊急時の対応が困難という話の中で、1 時間という話があったが、何を根拠に 1 時間になっているのか調べてあるのか。</p>	<p>・メンテナンス業者のインターネットを見ると、営業拠点から 1 時間ぐらいをめぐりに、事故があった場合に駆けつけられるという形でやっております、業者自らが 1 時間以内を目標に考えているのが強いと思います。</p>
<p>・参加要件の緩和で、1 時間をもう少し延ばすといった時間的なことを緩和すれば大丈夫であるのであれば、条件を緩めるということは考えられないか。</p>	<p>・最初の工事でも、今回のメンテナンスでもそうですが、やはり製造メーカー以外はなかなか手を出せないというのがあります。それと独立系が都市部にしかありませんので、山間部の物件に手を出すというのは厳しく、何社も手を挙げることはなかなか難しいと思います。</p>
<p>・ 1 者応札で応じたところは、その 1 時間以内とか、緊急時のときに対応できているのか。</p>	<p>・ 1 時間ではちょっと厳しいのですが、何とか駆けつけてきてはくれています。</p>
<p>・「群馬管内外管理用制御処理設備点検業務」の不参加者の意見の中で、『専門メーカー部分とそうでない部分を分割していただければ、効率的』とあるが、これはどういう意味か。</p>	<p>・本件の回答の趣旨は、主に製造メーカーしか点検できないソフトウェアの部分と汎用機を中心に使っている程度のものであっても点検できるハードウェアと、この 2 つを分けて出していただければ、少なくともそのハードウェアの部分については参入できたかもしれない、そういう趣旨です。</p>

第8回水資源機構契約監視委員会 審議概要

	<p>・例えばエリアで、バッテリー電源だとか、制御用何とかコンピューターバッテリー電源、何カ所とかというような切り口でまとめることはできるのか。</p>	<p>・机上の論理としてはもちろん専門業者がそれぞれ入ってこれるという考え方は可能だと思いますが、このダムコンというのはコンピューターだけで機能するものではなく、通信回線も電源設備も、またそれと連携するゲートも含めてシステムとして機能するものですから、総合的な機能を点検することをお願いしているもので、余り極端な分割はできないと思います。ダムの運用を考えると危険ではないかと考え現在はシステム全体として発注しています。</p>
	<p>・もう一回できるだけ分割発注を検討してみてもどうか。最後のシステム規模の確認は確かに必要なもので、全部見ないといけないが、それ以外のパーツの点検は、「何々水系バッテリー点検」というような形でバラバラでもできると思う。</p>	<p>・今のご指摘で、分割発注も可能ではないかとのことですが、もちろん検討の余地はあると思います。しかし、同じダムの中にそのバッテリーがいくつもあって、それだけを取りまとめて1つの業務として成り立つということであれば、バッテリー部分を分割してもいろいろなメーカー、点検業者が参入してくる余地があると期待できますが、ダムの中にそのバッテリーがいくつもあるわけではないので、むしろ1つにまとめたほうが管理費といったコストも安くできますし、スケールメリットが出て業務としての魅力が増すので、その意味で参入意欲を駆り立てるということで、今のところダム単体でやる場合は、1つになるべくロットをまとめてやる思想でやっています。</p>

第 8 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

	<p>・今まで随意契約に近いものでも、一般競争入札にしてしまったから戻せないといった背景があるのだと思うが、今度新たに作る契約というのは、随意契約の中でも参加者確認型にすれば 1 社しか入りませんでしたということで、競争性のある随意契約となるのだから、そういう選択の道もあると思う。そういうことを検討されたほうが良いと思う。</p>	<p>・随契から競争性のある契約へという大河の流れのような中で、一旦、一般競争入札のほうの最先端に持ってきてしまった案件ですので、それを競争性のあるとは言いながら、カテゴリーが随意契約のもとへ戻し込めるかどうかは、我が社だけでは検討し切れないと思いますが、貴重なご意見だと思い、参考にさせていただきたいと思います。</p>
	<p>・「デジタルフルカラー複合機賃貸借及び保守」は、物すごく落札率が低いですが、これはどうしてか。</p>	<p>・更新機器の複数年の賃貸借契約とその保守契約をセットにし 3 年契約で発注しました。当然こういった契約においてはライバル社が存在すると考えて、この賃貸借料及び保守の総価においては、我が社の予定価に比べて 60% 未満の非常に安価な応札をされたのではないかと認識しています。</p>
	<p>・実質競争性を高めるという点では、成功したということか。</p>	<p>・落札率からすれば大変良い結果だったのですが、納期までの時間が若干、年度末で足りなかったことから開札日直前に 1 者が辞退してしまい、結果 1 者応札になってしまいました。1 者応札を極力少なくすることが至上命題ですので、もう少し早目に公告していれば、確実に複数応札であったはずなもので、非常に残念な案件だと思っています。</p>
	<p>・1 者応札の問題は何かというと、落札率が高いから複数でやれということだとしたら、これは落札率のほうが優先度は高いはずで、今のように失敗したなんて思わないほうが良い。</p>	<p>・ありがとうございます。</p>

第 8 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま出ました意見等を今後の 1 者応札の対策に反映していただきたいと思えます。 	
2 .平成 22 年度第 1 四半期における随意契約に関する点検についての審議	<ul style="list-style-type: none"> ・電子印刷機、複写機保守だが、競争性のある契約への移行の有無等というところで、一般競争入札へ移行ということだが、必要かどうか検討した方がいい。1 者応札になりかねない。随契は減ったが、1 者応札につながるの、見直すときはよく検討してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・承知しました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま出た意見等を今後の随意契約見直しの参考にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・

問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心 1 1 番地 2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048 - 600 - 6500

水資源機構契約監視委員会事務局

財務部契約課長

小出 裕之 (内線 2251)

技術管理室技術調査課長

星野 博 (内線 4631)